



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

Weekly Report



会長／野澤幸弘 幹事／野口雄介
広報委員会／若林俊彦・山田哲史

例会日／火曜日 12:30～13:30
例会場／会津若松駅前 会津迎賓館
tel.0242(25)3311

事務所／会津若松市追手町 3-24
tel.0242(29)5866
fax.0242(38)2895

URL <http://www.aizujonan-rc.com>

2011年7月12日(火) 第1264回(本年度2回)例会

会長挨拶

野澤 幸弘 会長



本日は当クラブの姉妹クラブ余市 RC の皆様を迎えての例会となりました。余市 RC 様は前年度 50 周年を迎えられた歴史と伝統のクラブであります。本来であるならば当クラブも全員で 50 周年式典に駆けつけるはずでしたがご存知のとおりの大震災で参加がかなわず、本当に残念で申し訳ない気持ちでございました。

また余市 RC 様からはそのようなクラブの節目の大事な時期にもかかわらず多額の義捐金を託していただきました。感謝にたえません。我々の気持ちを伝えたいと思ひまして今週の余市 RC の例会にメイキャップする予定でした。するとお互い示し合わせたわけではなく 4 人の皆さんがこうしてお出でくださいました。お互い通じ合っているということに感動ひとしおでございます。昨日萬花楼にて懇親会を持たせていただきました。本日はまた楽しんでいっていただきたいと思ひます。

さて、大震災ですが、昨日で 4 ヶ月が経ちました。せっかく新設された復興担当大臣のポストに就いた松本大臣も早々と退任し、菅首相が新たに設定したストレステストの件では混迷を深めています。私が言うまでもなくだめなのは皆さん感じておられると思ひます。ただ連日テレビでキャスターやコメンテーターが感情的に騒ぐと逆に冷静になりまして、国民の民度以上の政権はできないということを思い出し、考えるようになる今日このごろです。震災後、混乱なく耐え忍び協力し合い各国から驚きをもって讃えられた日本人の姿とリーダーシップなくさまよう日本人の姿。日本人の強さと弱さが露わになってしまいました。

戦前アジア各国の中では抜群の教育水準にあった日本は戦後もその遺産ですばらしい発展を遂げることが出来ました。現在アジアの教育水準は高くなり日本に追いつき追い越そうとしています。そんななか現在のリーダーは戦後教育を受けた人たちが主となってきました。それがこの状態です。このあと現在多くの企業で頭を悩ませているゆとり教育世代が登場してきます。『天は自ら助くる者を助く』とはいえど、やはりリーダーがどれほど大切かよくわかります。当面の課題として震災復興は経済政策が主になると思ひます。しかし復興には長い年月がかかります。長い目で見て必要なのは「教育復興」ではないでしょうか。民度を上げ、優秀なリーダーを輩出する教育が必要に感じてなりません。現実には早く対処するとともに未来に目を向け、人を作るということに日本は待たなしのような感覚を強く受けました。

- 点 鐘 野澤 幸弘 会長
 - ロータリーソング 我等の生業
 - 四つのテスト 小島 敦 君
 - お客様紹介 中井 克雄 会長
- 森 義彦様、杉本 彰 様、板倉 俊久 様 (余市 RC)

本日のプログラム

- ガバナー公式訪問リハーサル
- 余市 RC 中井様・板倉様・森様・杉本様ご挨拶

出席委員会報告 — 大塚 修一 委員長

出席：一名 欠席：一名
出席率：— % 前回出席率訂正：— %

幹事報告 — 野口 雄介 幹事

①例会変更のお知らせ

7/21 (木) → 22 (金) 午後 3 時
於：ワシントンホテル 公式訪問
(会津若松中央 RC)

②R財団セミナーの案内 (受)

日時 7/30 (土) 13:00 開会
会場 郡山市南東北総合卸センター組合会館
出席者 会長・幹事・R財団委員長

③社会奉仕委員会研修セミナーの案内状 (受)

日時 8/20 (土) 13:00 開会
会場 郡山開成山大神宮「参集殿」
出席者 会長・幹事・社会奉仕委員長 (ガバナー事務所)

④年次計画書 (受) 岡崎城南 RC

⑤週報 (受) 会津若松 RC



ニコニコ BOX — 木村 武美 委員長

余市 RC 中井様・板倉様・森様・杉本様：心温まる接待有難うございました。

野澤君：余市RCの皆様いらっしゃいませ。会津を楽しんでいって下さい。

野口君：余市RCの皆様こんにちは。本日は宜しくお願い致します。

黒澤君・田中君・小椋君・木村（剛）君・岡本君・湯田（和）君：余市RCの皆様ようこそいらっしゃいませ。また先日は、過分なる支援金本当にありがとうございました。今後ともご指導の程宜しくお願い申し上げます。

手代木君：余市RC中井会長はじめ森さん、杉本さん、板倉さん、ようこそ久しぶりです。貴クラブの創立50周年記念式典を東日本大震災と原発事により中止せざる状況下に多大なる義援金までいただき、感謝・感激の極みでございます。又、本日は激励のためご訪問下され会員一同感謝申し上げます。誠に有難うございました。

安達君：7月も、宜しくお願い致します。

R 財団 BOX — 岡本 恭宜 S.A.A

野澤君：ガバナー公式訪問リハーサルよろしくお願い致します。

大塚君：余市RCの皆様いらっしゃいませ。明日のMUはお世話になります。

田中君：野澤・野口年度を祝して。

米山記念奨学会 BOX — 手代木 和之 委員長

野澤君：暑さに負けず頑張りましょう。

田中君：野澤・野口年度頑張ってください。

手代木君：米山記念奨学事業を全員で推進しよう。普通寄付金年間5,000円。特別寄付金年間10,000円計15,000円を目標に達成しよう。

アルバム

本日は、姉妹クラブである余市ロータリークラブ様より4名のメイクアップがありました。余市ロータリークラブ様には震災後すぐにお見舞い状や義援金を頂いたりと感謝の念に堪えません。そして、今回のお見舞い訪問。あたたかいお言葉にととも励まされました。



中井会長よりご挨拶。



板倉直前会長よりご挨拶。



森会員よりご挨拶。



杉本会員よりご挨拶。